

Gesellschaft der Musikfreunde in Nagano

長野楽友協会

Sommer Konzert

2017

サマーコンサート

2017年7月17日(月・海の日) 午後2時開演(午後1時30分開場)

THE SAIHOKUKAN HOTEL(ホテル犀北館) 2Fボールルーム

G.F.ヘンデル

合奏協奏曲 作品6-1

W.A.モーツァルト

ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲

C.M.ウェーバー

ファゴットとオーケストラのための
アンダンテとハンガリー風ロンド

W.A.モーツァルト

交響曲第41番「ジュピター」

鈴木 彰久(指揮)

国立音楽大学音楽教育科卒業。卒業後に指揮法を矢澤定明氏に師事、リュシメソッドを稲盛訓敏氏に師事。これまでにフィガロの結婚、コズィ・ファントゥッテ、魔笛、ドン・ジョヴァンニ、仮面舞踏会、ドン・カルロ、オテッロ、ラ・ボエーム、トスカ、蝶々夫人、ジャンニ・スキッキ、カヴァレリア・スタスティカーナ、道化師、アドリアーナ・ルクヴルール、カルメン、ファウスト、ヘンゼルとグレーテルなどのオペラ作品に指揮・副指揮として携わる。2008年佐渡裕プロデュースのメリー・ウィドウ、ごうもりなどの副指揮者として参加。三枝成彰氏の「忠臣蔵」、「神風」のオペラにも携わる。その他に東京近郊にてオーケストラや合唱の指導もしている。現在、東京都市大学等々力中学校・高等学校の非常勤講師を務める。長野楽友協会とは、2008年長野市民教養講座メモリアルコンサート、2009年～2011年のサマーコンサート、2012年土の会オペラ「ドン・ジョヴァンニ」、2017年ニューイヤーコンサートにおいて共演、好評を得た。



西村 友見(ヴィオラ)

長野市出身。3歳より才能教育にてヴァイオリンを始める。桐朋学園高校を経て桐朋学園大学を卒業後渡米、D.コピアルカ氏のもとで研鑽を積み傍らサンフランシスコ音楽院室内楽科に在席。帰国後1999年に渡独、トロツィンゲン音楽大学でJ.クライツ氏に就いてヴィオラを学ぶ。2003年よりバンベルク交響楽団の正団員としてドイツを拠点に世界各地で演奏活動を行なっている。これまでに古川園子、吉川朝子、篠崎功子、岡田伸夫の各氏に師事。

古川 園子(ヴァイオリン)

信州大学教育学部卒業。ヴァイオリンを鈴木鎮一、三瓶詠子、阿部靖、西田博、吉川朝子、マウロイフラート、ビルギット・コーラー、エリーザベト・クロプフィツチュ、アントン・ソロコフの各氏に、ヴィオラをブルース・ブラム氏に、バロック音楽奏法を三瓶十郎氏に、室内楽を岩崎淑、森安耀子、ジョゼッパ・マリ奥特ティ、ゲオルク・マルクの各氏に師事。1978年ザルツブルクモーツァルテウム音楽院夏期講習に参加し、バルビエリ氏に師事、優秀者による修了演奏会に出演。長野楽友協会コンサートミストレス。長野市出身、中野市在住。

古川 結子(ファゴット)

12歳からファゴットを始める。ファゴットを守屋智子、馬込勇の各氏に師事。2002年第12回日本クラシック音楽コンクール高校の部第3位、ソリストとしてヴィヴァルディ、モーツァルトの協奏曲等で長野楽友協会と共演。ミラントルコヴィッチ、リヒャルト・ガラー、ダヴィッド・ザイデル各氏のマスタークラスを修了。2011年よりウィーン市立音楽大学に留学、2015年同大学を卒業。現在、同大学大学院にてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ファゴット奏者ミハエル・ヴェルバ教授の下で研鑽を積んでいる。長野楽友協会、長野フィルハーモニー管弦楽団ファゴット奏者。東京学芸大学卒業。中野市出身。

長野楽友協会

1979年から長野市でアンサンブル'79、'80、'81とサマーコンサートを開いてきたメンバーを中心に1982年6月発足。以来、年1回のホールでのコンサートと年1回～2回のサロンコンサートを主な行事として活動を続け、2012年に30周年を迎えた。会員は、長野市及びその近郊を中心に、各地の音楽愛好家で構成され、県内外の協力メンバーの参加もいただいで、メンバー個々の日常活動を尊重しながら、より充実した音楽活動を目指している。

主催/長野楽友協会

後援/長野県、長野県教育委員会、長野市、長野市教育委員会

※チケットは5月下旬から発売

※ご予約・お問い合わせは長野楽友協会会員へ
プレイガイド/ながの東急、ウィナー楽器、美鈴楽器、
ヒオキ楽器、ホクト文化ホール ほか

一般/2000円 高校生以下/1000円(当日も同じ/全席自由)

お問い合わせ/TEL026-235-5591(青木) TEL0269-22-6757(古川)